

磐梯山・雄国沼モニタリング

江花 俊和



磐梯山

【目的】

百名山の一つに数えられている磐梯山は、毎年多くの登山者が訪れる。このため、登山道の崩れや植生への踏み込みなどが懸念されている。

特に登山者が集中する弘法清水とお花畑・黄金清水周辺は高山植物の保護の上から継続的にモニタリングしていく必要があると思われる。

上記以外の登山道周辺での植物の保護や地形の変化のモニタリングも視野に入れて行きたい。

【結果】

1. 弘法清水周辺は多くの登山者が集中するため、荒れ地の拡大の監視とトイレの検討が必要である。
2. お花畑は立ち入り禁止のロープ内への踏み込み跡が見られる。
3. 黄金清水の下側には複数の踏み跡ができており、群生しているミヤマキンバイが踏まれているので監視していかなければならないと思う。
4. 火口壁のコースの土砂崩れに注意が必要。また火口原はカラマツなどの樹木が増えている。

雄国沼

【目的】

貴重な植物も多く、レンゲツツジやニッコウキスゲの季節には訪れる人も多いため、登山道の破壊や植生の変化に対するモニタリングが必要である。

【結果】

1. 湿原への踏み込みが見られた。
2. レンゲツツジが成長した低灌木に埋もれてしまっており、減少が心配される。
3. 木道が破損し危険な箇所がある。
4. 雄国沼休憩舎のトイレは有料にも関わらず、汲み取り等が間に合わずに快適に使用できる状態にない。

磐梯山・雄国沼

【考察】

1. モニタリングの場所を絞り込み、特定する必要がある。
2. しっかりした防護柵と立ち入り禁止標識の設置、磐梯山や雄国沼ともにトイレの問題の解決が急がれる。
3. 湿原植物の分布の調査も必要と思われる。

【実施内容】

磐梯山・・・登山道周辺の地形と植生の変化を主に観察してきた。

雄国沼・・・植生の分布と登山道の観察。

【調査日時】

日時	場所	内容	天候	備考
6月10日	雄国沼	レンゲつつじの状況	曇／雨	鈴木調査
6月30日	雄国沼	木道状況	晴	
7月3日	雄国沼	ニッコウキスゲの状況	曇	友坂調査
7月23日	噴火口原	地形の変化と植生	曇	
〃	弘法清水	地形の変化とトイレ問題	曇	
〃	お花畑	植物保護状況	曇	
10月12日	噴火口原	地形の変化	曇～晴	
10月19日	翁島	登山道状況	晴	
10月22日	赤埴山	地形の変化	晴	